

CTCメルマガ vol.135  
2026.4.24

高石藤井病院

Presented by Daisuke Tsurumaru  
Radiology Dept. Kyushu Univ.



# 大阪府高石市にある、高石藤井病院を紹介します！

医療法人 良秀会  
高石藤井病院

072-262-5335 アクセス 医療法人良秀会 法人サイトへ

病院案内 お知らせ 基本方針 病院の特長 院長挨拶 施設基準 医療機関の方へ Q & A

地域に根ざし、地域を支える

## 高石藤井病院の特長

一般病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリ病棟、療養病棟の4つの病棟を有する病院で、急性期から慢性期、さらには在宅治療に至るまでの、医療・福祉連携を積極的に進めています。

<https://www.ryoshukai.or.jp/medical/takaishi/>

高石市（たかいしし）は、大阪府の泉北地域に位置する人口約5万人の工業都市です。



## 診療科

内科 循環器内科 消化器内科 腎臓内科(人工透析) 外科 整形外科  
消化器外科 神経内科 皮膚科 泌尿器科 眼科 リハビリテーション科  
放射線科 麻酔科 心臓血管外科 乳腺外来

## 病床数

75床(一般病床)、40床(医療療養病床)、32床(回復期リハビリテーション病床)、38床(地域包括ケア病床)



天女の住まう街だそうです♪

# 大腸CTも積極的に実施しています♪

大腸がん検査の新しい選択肢

## 大腸CT検査



### 気になる症状、ありませんか？

大腸がんの罹患率（がんにかかる割合）は、40歳代から増加し、50歳代で加速され、高齢になるほど高くなります。早期の段階では無症状であることが多いのですが、がんの進行により、血便、下血、下痢と便秘の繰り返し、便が細い、原因不明の体重減少などの症状が出現してくると言われています。

### 内視鏡検査はハードルが高い…

大腸がんの発見については、便に血液が混じているか否かを判定する便潜血検査が一次検診として行われています。しかし、便潜血検査で陽性と判定されても、精密検査を受ける割合

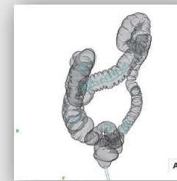
が非常に低いことが問題になっています。精密検査である大腸内視鏡検査をなぜ受けないのでしょうか？内視鏡検査は恥ずかしい、大量の下剤の飲用が必要で痛いなどと感じられる方がいらっしゃることも原因の一つであると考えられます。

### 楽でカンタン！大腸CT検査

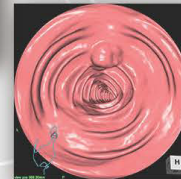
そういった問題点を解消すべく新しく登場したのが、大腸CT検査（X線を使って身体の断面を撮影する検査）であります。大腸CT検査は、炭酸ガスを大腸に注入して腸を拡張させた状態で



撮影し、最新の画像処理装置により、内視鏡検査を行ったような3D画像を作成することが可能です。そうして得られた画像を読影し、病気の有無を判定します。

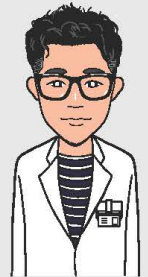


炭酸ガスで腸を膨らませた像



仮想内視鏡像

大腸CT検査は少量の下剤で済み、痛みを感じることはありません。気になる症状があるけれど、精密検査を受けることを迷っている方に、是非とも受けていただければと思います。



担当医師  
小阪寿幸

気になる症状がある方は、担当医の診察を受診してください

【診察日（消化器内科）】 月曜日・火曜日  
【診察受付時間】 午前 8:30 ~ 12:00  
【診察時間】 午前 9:00 ~ 12:00

〒592-0014  
高石市綾園 1-14-25  
TEL:072-262-5335

高石藤井病院 検索



<https://www.ryoshukai.or.jp/medical/tekaishi/>

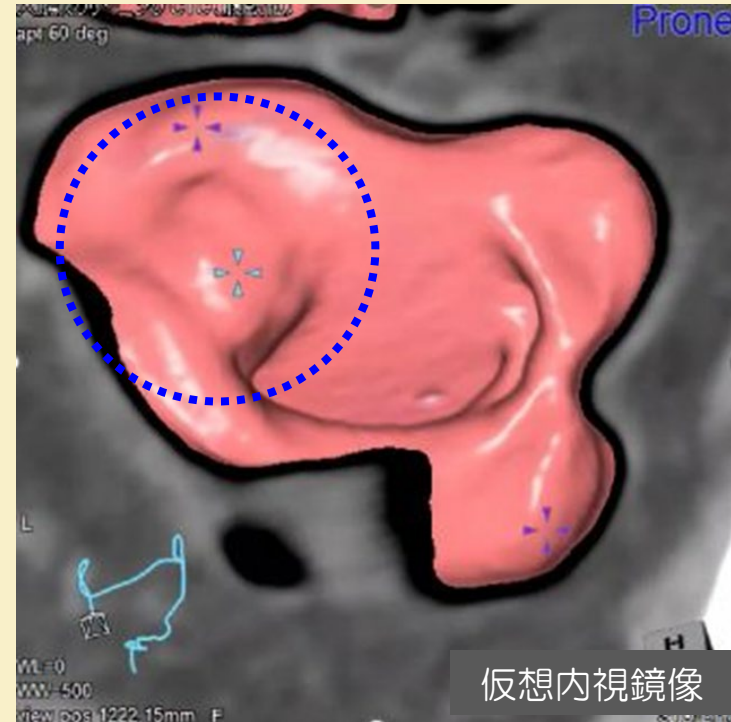
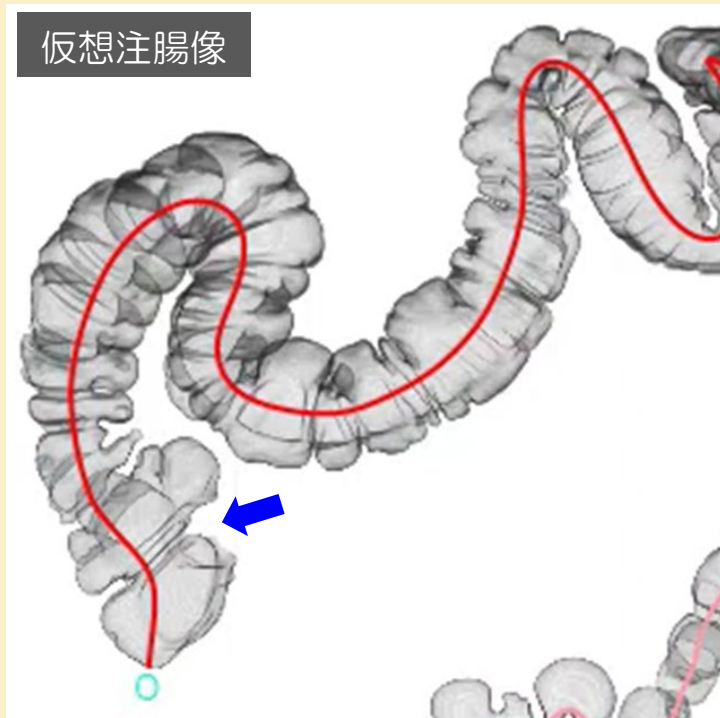
医療法人 良秀会  
高石藤井病院

2022.3  
揭示期間：2023年3月31日

# 高石藤井病院での大腸CTケースをご紹介します！

## Case 1 80歳代・男性

エリキューズ内服中。定期検診で便潜血陽性となり、循環器内科より紹介となり、大腸CT施行。

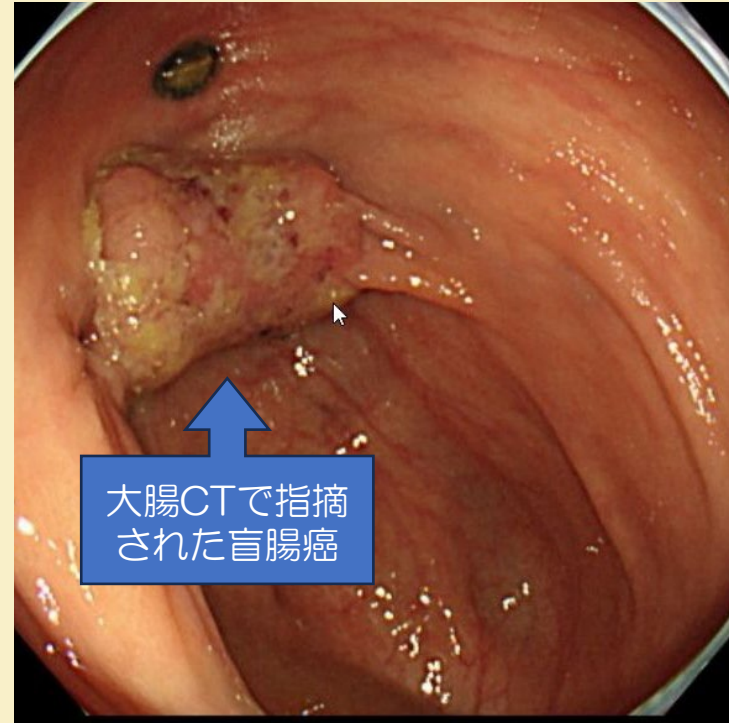
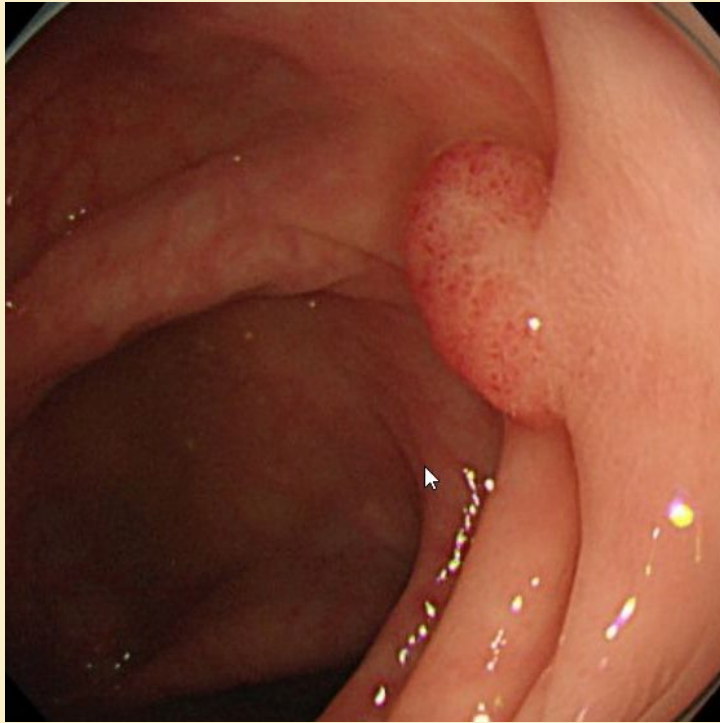


盲腸に隆起を認め、1型盲腸癌が疑われます。

# 高石藤井病院での大腸CTケースをご紹介します！

## Case 1 80歳代・男性

- エリキュースを休薬とし、大腸内視鏡を施行。  
→大腸CTで指摘された盲腸癌を同定し、生検。  
→他にも小さなポリープを認め、ポリペクトミー施行。

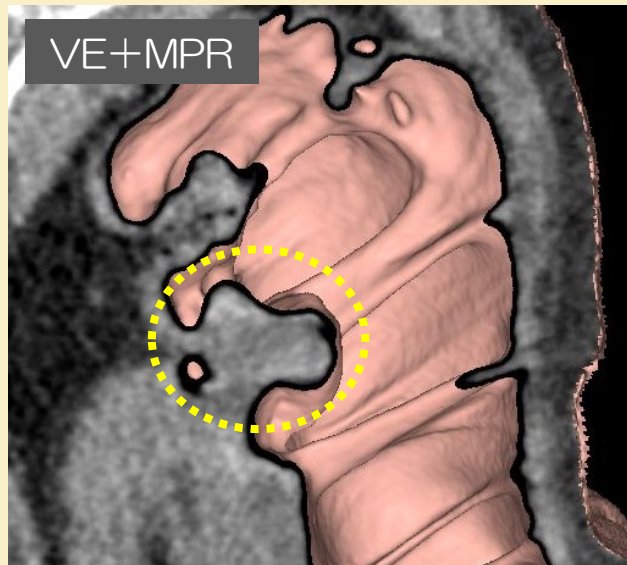


**POINT!** 抗凝固薬内服中の高齢者に対し、大腸CTを実施することで、適切な休薬と戦略的な大腸内視鏡が可能でした。

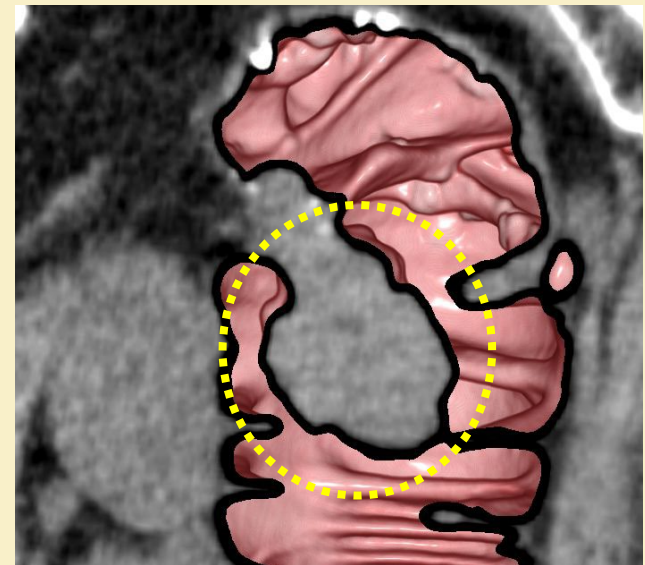
# 高石藤井病院での大腸CTケースをご紹介します！

## Case 2 80歳代・男性

便潜血陽性にて大腸内視鏡を勧めたが、大量の下剤服用が困難とのこと。  
消化器内科より紹介となり、大腸CT施行。



回盲部に0-I型腫瘍を認め、  
内視鏡を勧めたが、拒否。



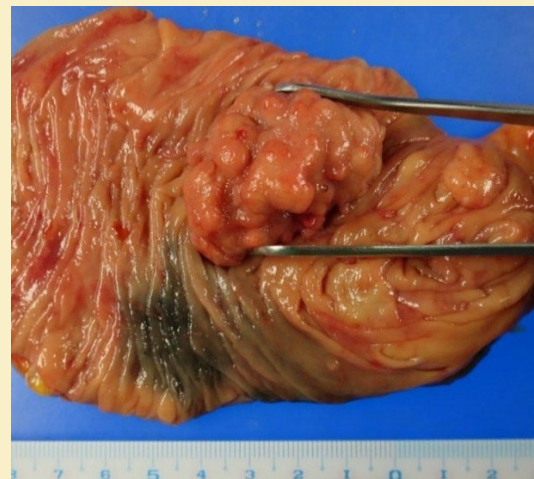
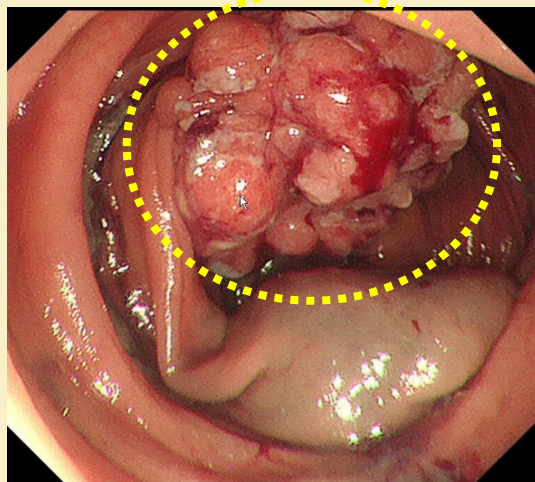
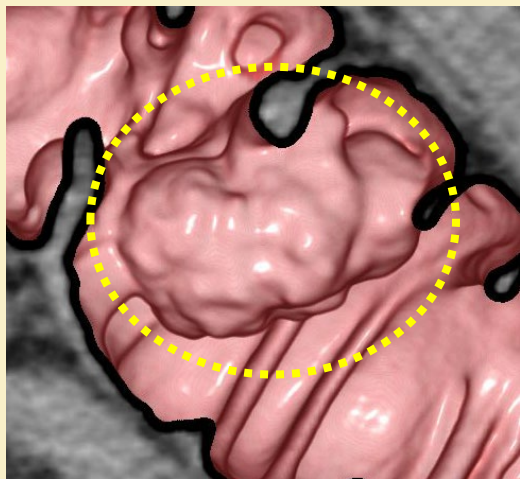
腫瘍は2cm大に増大。

再度本人を説得し、大腸内視鏡での精査となりました。

# 高石藤井病院での大腸CTケースをご紹介します！

## Case 2 80歳代・男性

大腸内視鏡では、盲腸に凹凸不整な隆起を認め、大腸癌が疑われました。その後、外科切除され、盲腸癌T1b (tub2) の診断でした。



**POINT!**



大腸内視鏡拒否でしたが、大腸CT経由で治療に至りました。

大腸CTという選択肢があることで、救える大腸癌があります。